

**平成27度 土木部
2月補正予算（案）の概要**

**平成28年2月15日
福島県土木部**

平成27年度 土木部 2月補正予算(案)の概要

補正予算の概要

- 1 国の補正予算による交付金等を活用し、防災対策等必要な事業の増額補正を行います。
- 2 年間所要見込み等による補正を行います。

補正予算の規模

一般会計 合計	▲428億2,716万円
●国の補正予算を活用した事業費の増額	131億5,264万円
●年間所要見込み等による補正	▲559億7,980万円

主な事業内容

国の補正予算を活用した事業費の増額

- ・ 関東・東北豪雨で被災した公共土木施設の復旧工事を実施します。
11億4,230万円 P.1
- ・ 土砂災害警戒区域等を指定するための基礎調査を推進します。
4億2,000万円 P.2
- ・ 自然災害のリスクを回避するための代替路線等の防災事業を推進します。
3億9,184万円 P.3

年間所要見込みによる補正

- ・ 公共災害復旧費(再生・復興) ▲223億9,282万円
(事業認定に伴う用地進捗に合わせた工事発注箇所の調整や堤防の構造を変更したことによるコスト縮減等による減額です。)
- ・ 復興公営住宅整備促進事業 ▲73億6,576万円
(整備方法の変更(買取方式)などのコスト縮減による減額です。整備戸数については、計画通り進捗できる見通しです。)

関東・東北豪雨で被災した公共土木施設の復旧工事を実施します。

事業の概要

○平成27年9月関東・東北豪雨により被災した県管理の公共土木施設(国道115号、桧沢川、館岩川など)の復旧工事を実施し、被災した地域の早期復旧・復興を図ります。

◇災害復旧事業

平成27年9月関東・東北豪雨の
主な被災箇所

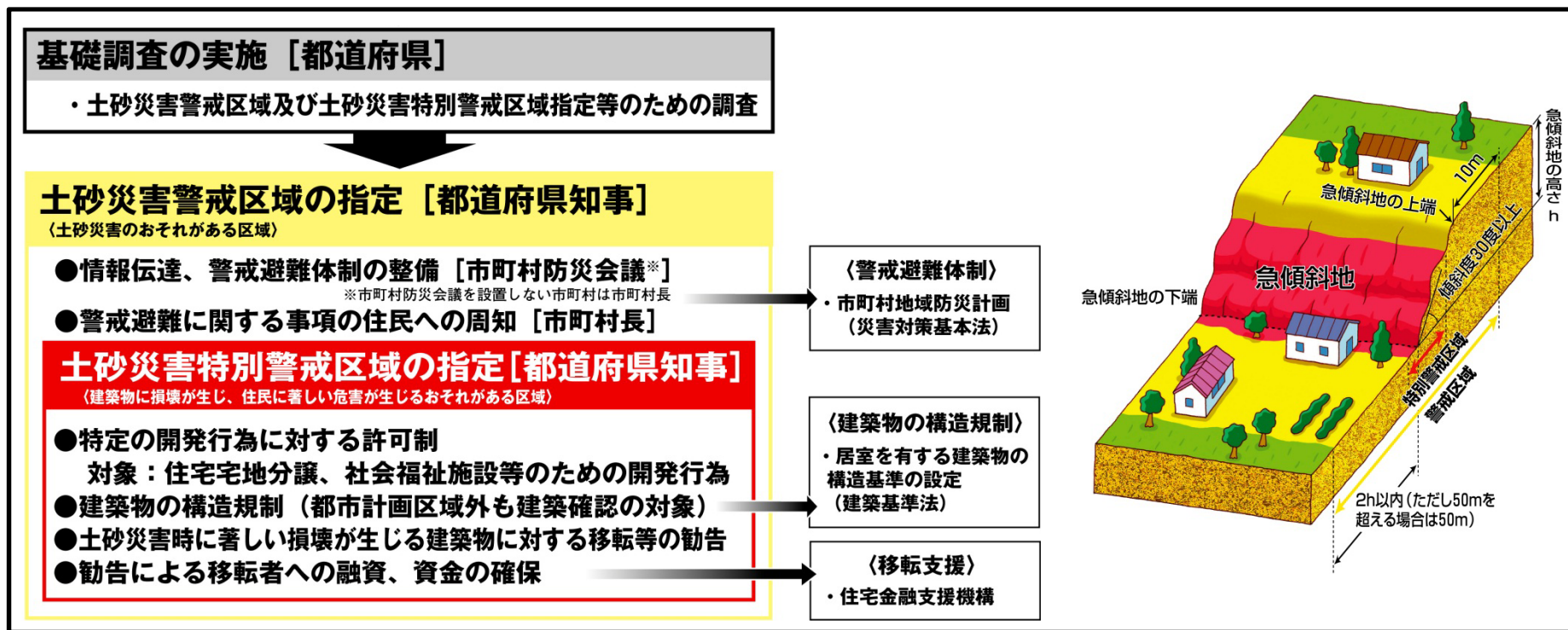


土砂災害警戒区域等を指定するための基礎調査を推進します

事業の概要

○平成27年9月の関東・東北豪雨で土砂災害のあった市町村において、土砂災害から県民の生命を守るため、土砂災害警戒区域等の指定に必要な基礎調査を前倒しして実施します。

◇交付金事業(砂防)



自然災害のリスクを回避するための代替路線等の防災事業を推進します。

事業の概要

○道路防災点検の結果に基づき、自然災害リスクを回避するための法面对策、斜面对策及び、防災改築事業を実施します。

◇交付金事業(道路)

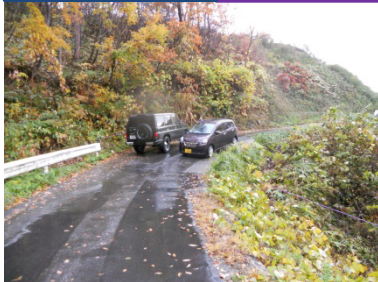
【事業の効果】

豪雨等、自然災害が発生した際の円滑な復旧支援や緊急避難のため、通行危険箇所の回避や解消がなされた道路ネットワークを構築し、道路交通の代替性を確保する。

◆防災改築事業の例 (危険回避のための改築工事を実施予定)

現況写真

(国) 459号 (見頃工区)



←落石の危険がある山岳部の道路について、防災改築事業を実施。
(狭隘区間においては、すれ違いが困難な状況)

◆法面对策事業の例 (要対策箇所について改善工事を実施予定)

現況写真

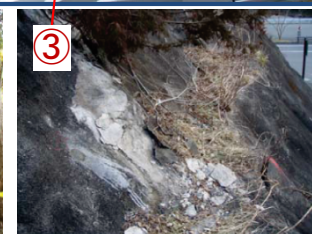
(主) いわき上三坂小野線 (下根岸工区)



↑すりつけ部の劣化



↑落石の危険有り



↑モルタルが剥離